

急げ新幹線対策

山内憲一



山内 平成22年には、北は青森、南は鹿児島まで新幹線が繋がる。阿蘇市の取組みは。

吉良商工観光課長

熊本県や観光連盟・阿蘇市・熊本市・天草市と連携し、福岡・広島・岡山・兵庫・大阪のJR西日本エリアを中心に徹底した誘客活動を行っています。今年、6月末に熊本のコンベンション協会と一緒に広島球場を貸切り、宣伝活動を予定しています。阿蘇市としては「健康づくりの郷」事業を通して、質の高い観光温泉地づくりを目指した事業に着手します。

山内

新幹線開業の節目として、諸外国にトップセールスをしたらと思うが市長の考えは。

市長

今二つの案を予定していますが、具体化したら発表致します。

山内

新幹線八代・鹿児島が開通し、乗車数は平成15年と比較した場合、鹿児島中央駅は百万人の増、一方熊本駅は30万人程減っている。熊本駅で降ろす為には、阿蘇を視野に

入れた57号線の四車線化を急ぐべきだと思いが進捗状況は。

塚本土木部長

現在工事が行われている立野地区3.1kmは22年度末には開通の予定であり、大津側6kmの区間は用地買収を進めている状況です。

山内

もう一つは、JR豊肥本線を活かすべきであり、ダイヤ改正に併せ、急行列車の増発を要望すべきと思う。新幹線開業イベントとして、あか牛肉やこしひかりの米を活かした取組みをしてはどうか。

商工観光課長

関係者と協議し努力します。



国道57号線の渋滞状況

阿蘇医療圏の課題解消のため 中央病院に勤務される先生方の紹介



事務部長(病院建設準備室長)

赤塚 善一

4月に事務部長として就任しました赤塚です。前任機関は熊大病院です。

主として、県地域医療再生計画の第一事業としての阿蘇中央病院の新築移転業務に関わっています。

現在の病院は、老朽化・狭隘化が進み本来の医療機能を発揮できず、加えて医師、看護師不足などの重い課題も抱え、現状での運営改善は望めないのが実情で、早期の事業推進が必要とされます。再生計画の趣旨に沿って、阿蘇医療圏で要求される医療提供機能と地域的需要等に配慮した病院づくりに取り組んでまいります。

ご支援ご協力のほど、よろしくお願い致します。



ゼネラルリスキママネージャー

弘 妙子

医療安全管理部ゼネラルリスキママネージャー(GRM)として阿蘇中央病院に赴任いたしました。阿蘇中央病院の役割としては、民間病院及び医院との競合しない分野(救急部門)のさらなる強化、救急搬送及び死因の上位を占め、迅速な治療を必要とする脳血管疾患及び心疾患治療等の新たな分野の充実整備を行っていくことと認識しています。平成25年の移転を視野に入れ、医療安全の視点から提案しています。阿蘇市議会の皆様、阿蘇市民の皆様、他の医療機関の皆様とともに前進をいたします。皆様のご支援ご意見を、応援をよろしくお願いいたします。